

平成 29 年 1 1 月 1 0 日に文教福祉委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

● 新学校給食調理場建設の進捗状況について ●

～内容～

新学校給食調理場建設の進捗状況について、今後のスケジュール等を調査するもの

～質疑～

問：新学校給食調理場では、どのようなアレルギー対応をするのか。

答：新学校給食調理場には、アレルギー対応室がありその中には電磁調理器等もある。例えば、卵にアレルギーがある子については、仕上げを卵以外のもので調理するなどの対応をしていきたいと考えている。

問：岡山県からの栄養士の人数はどうなるのか。

答：5,000 食以上になると岡山県から 2 名派遣される。東調理場は約 5,300 食で、2 名派遣、西調理場は約 1,200 食で 1 名派遣されている。新学校給食調理場は約 6,500 食で 2 人の派遣となる。今後も岡山県に栄養士が減らないように要望し、岡山県から派遣されない場合は、本市の臨時職員を配置し、人数が減らないように考えている。

問：新学校給食調理場への出入口の安全対策はできているのか。

答：建物を比較的道路から離れた配置にし、車両の進入路を直線部分に配置するなど交通事故等がないよう安全対策をしている。

● 新認定こども園建設の進捗状況について ●

～内容～

新認定こども園建設の進捗状況について、今後のスケジュール等を調査するもの

～質疑～

問：新認定こども園の預かり保育はどうなるのか。

答：現在、井尻野幼稚園で預かり保育をしている。サービスの低下にならないように新認定こども園でも預かり保育を開始しようと考えている。それに伴い同じ認定こども園の施設である清音認定こども園でも、同時に預かり保育を開始するよう検討している。

問：新認定こども園と総社中央小学校との連携をとるために、どのようなことを考えているのか。

答：新認定こども園の東側と南側辺りに 2 カ所ほど入口を設け、業間の休みに交流したり、授業中にピアサポートができるように考えている。

● 総社小学校改築工事に伴う学習環境の確保について ●

～内容～

総社小学校改築工事に伴う学習環境の確保について調査するもの

～質疑～

問：工事に伴う暑さ、寒さ、騒音、危険な場所についてどのような対応を考えているのか。

答：暑い時期は、エアコンをリースし設置する予定である。設置する場所については、今後協議をしていきたい。冬は、ストーブ等、暖房器具を活用したい。音と粉じんについては、十分に対応していきたいと考えている。工事中の危険な場所については、高さ3mのフェンスで囲み子どもたちが近寄らないような表示等徹底するとともに、ガードマン等の配置によって、登下校時の安全確保を考えている。

問：エアコンを設置する場所はどのように考えているのか。

答：基本的には、普通教室に設置する予定にしている。PTAの方と再度協議をしていきたい。

問：工事期間中の体育や運動会に使用するグラウンドはどのような状況になるのか。

答：現校舎の中庭があった部分と今のグラウンドの西側に体育の授業として使用する小運動場を設けている。運動会等については、総社高校をお借りするよう考えている。

● 健康インセンティブ事業について ●

～内容～

平成 30 年度から実施するインターネットを活用し、歩くことに重点を置いた健康インセンティブ事業^{あるとく}(歩得健康商品券)の詳細な内容について調査するもの

～質疑～

問：平成 30 年 1 月から募集するということだが、事業の実施はどのくらいの期間を考えているのか。

答：平成 30 年 4 月から平成 31 年 1 月まで、歩数等でポイントを付与するよう考えている。

問：この事業の目的は何か。

答：医療費の抑制と健康寿命を延ばすことである。

問：期限を区切っているが効果はあるのか。

答：3年から5年程度は事業を実施し、効果を測っていく必要があると考えている。

問：市内の登録店で使える商品券ということだがどのような内容か。

答：商品券については 100 円単位で作っていききたいと考えている。参加者がお店に商

品券を持って行って使っていただき、お店からはその商品券と請求書を市に出してもらい、お金を支払うという仕組みでやっていきたい。

問：成人病の予備群のような将来医療費がかかりそうな方に参加していただく対策はあるのか。

答：特定健診で、保健指導の対象になっている人たちに個別に参加を呼びかけたり、また、事業所を回って、是非この事業に参加してもらえよう声かけをしていきたい。